



人街元気!!

県民と県をつなぐ架け橋

友雅会NEWS



組織内  
討議資料

ふるや 古屋まさおと  
ともに歩む 友雅会

【事務所】〒405-0007 山梨市七日市場783-8  
〒405-0007 山梨市七日市場816-7(自宅)  
TEL・FAX 0553-23-6688(後援会)  
E-mail m.furuya@basil.ocn.ne.jp  
発行責任者 詫間 仁 編集責任者 古屋 雅夫

臨時県議会

## 改選後、自民党誠心会26議席をもって役職を制す

6月定例会

## 401億円余の県政発足3番目の大型補正予算となる

平成から令和へと新しい時代の幕が開きました。この節目となる年、先の県議会議員選挙において多くの県民の負託を得て、県議会議員2期目の活動の場を与えて頂きました。

ご支援を頂いた皆様に感謝を申し上げます。

「初心忘るべからず」。そして与えられた職責を全うするため一つ一つの県政課題に、しっかり向き合い「誰もが安心して心豊かに暮らせる山梨創り」を目指し邁進してまいります。

また、県民・市民の懸け橋としての情報発信、広聴活動につきましては、これまでと同様に、「友雅会(後援会)ニュース」や「県政だより」を活用しながら取り組んでまいります。

### 臨時県議会

#### 不自然な議席指定、全役職を独占

県議選後、初の臨時県議会が5月14日に開催されました。

臨時議会ではまず議席の指定が行なわれ、これまでの慣例では期数、年齢、会派等を考慮しつつ前列から期数の少ない順に議席が指定されてきました。

しかし今回はどう言うわけか2期生の一部が最前列に指定、2列目に自民党誠心会所属の1期生等を指定。全体的に誰が見ても不自然な議席指定となった?

また議会人事では議長、副議長、監査委員及び4つの常任委員会すべての役職(委員長、副委員長等)を自民党誠心会の会派が数の力をもって独占。自民党の結束を示したとか?・・・他会派等への配慮がなくバランスを欠いた人事となった。こうした体制に流されることなく「是々非々」の立場で、主張すべきことはしっかりと主張し県民の声を反映していく所存です。

#### 臨時議会での知事の挨拶要旨

＝県民とのパートナーシップの構築、議会を重視していく＝  
5月14日臨時議会において長崎知事は挨拶を行なった。

当選された37名の県議会議員及び正副議長等に対し祝意を述べ、新たな時代令和を迎え責任の重さに改めて身の引き締まる思いである。県民に約束したきのうより今日がよくなったという「実感」、そして今日より明日がよくなるという「確信」が持てる、希望と元気と活力ある山梨県づくりに全力で取り組んでいく。また県政運営においては県民の皆様とのパートナーシップを構築すると同時に県民を代表する議会との関係を重視、政策を丁寧に説明し活発な議論頂けるよう努めていきたい。



ふるやまさお  
古屋雅夫

- 農政産業観光常任委員会
- 北富士演習場対策協議会 理事
- インバウンド観光政策委員会 副委員長

Check!!

@z4KGpKCe97FXbbf

<http://furuya-masao.net/>

### 「リベラルやまなし」は代表質問等および委員会で 知事の公約についての考え方を質す

＝主要事業のポイント＝

#### 【代表質問】

#### ■リニアやまなしビジョン(仮称)策定について考え方

#### ○リニア山梨県の駅位置決定経緯

- ・H20～H23県内4地域(甲府圏域、富士北麓・東部、峡東圏域、峡南圏域)協議会から駅誘致の要望
- ・H23.11.2リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会臨時総会で小井川駅(身延線)と大津町付近の2地域を比較検討し大津町付近を駅としてJR東海に要望することを決定

- ・H23.11.16期成同盟会からのJR・東海に対し、中間駅の設置場所を山梨県の総意として当時の「横内知事」が要望する。

- ・H26.10.17国土交通省がJR東海の中央新幹線工事実施計画書を認可  
※山梨県駅の位置が甲府市大津町に確定した。

知事はこうした経過の中で民間企業や研究機関等の誘致に向けた基本方針となる「リニアやまなしビジョン(仮称)」を策定に向け駅周辺の整備内容等の調査・検討。駅位置の検証に必要な乗降客数や既存の交通への影響等の調査を行う方針である。

※駅の位置の決定権はあくまでもJR東海にあります。

- 本事業の補正予算額リニアやまなしビジョン(仮称)策定事業費 55,357千円

#### ■富士山登山鉄道検討会の設置について考え方

県は、さる5月22日都内で有識者等13名を集め「富士山鉄道構想勉強会」開いた。今後は、富士山登山鉄道検討会を設置し同勉強会のメンバーを加えた観光や運輸、地元経済界の代表に委員として参加を求め、富士山鉄道を敷設する工事について、技術的課題や、自然環境に与える影響、防災対策、開発の制御を求めるユネスコの考え方と相違ないかなどの検討を行う方針である。

- 本事業の6月議会での補正予算額 41,759千円

#### ■日本初の小中学校25人学級の計画的推進について

知事は小人数学級教育推進検討委員会を設置し検討を行うとし、検討委員会では現在県内で導入されている30人～35人学級の効果や課題、25人学級を導入した場合の財政対策などを協議し、段階的・計画的な導入に向け本年度中に導入方法を示す方針である。

- 小人数(25人学級)教育推進検討委員会開催費 補正予算額327千円



### 6月定例会

史上3番目の大型補正予算400億円を超える  
山梨県予算474,987百万円対前年度6月比2.4%増  
増える県債、どう健全化するのか?

2月の定例議会県議会に提出された一般会計予算(骨格)が、6月定例会において公約に基づく新事業等を予算に組み込んだ補正予算401億円余が可決された。

特に公共・県単公共事業、一般行財政事業の両面で過去の肉付け補正と比較して超積極型補正予算となった。

その内容は、①事業数183事業数(うち新規事業128事業)、②資金面では国庫支出金は国の「防災・減災、国土強靱化」対策事業等で前年比プラス78億円(15.5%増)、また公共事業費は685.8億円余(前年同期18.5%増)、補助金以外の公共事業財源として有利な公布税措置のある時限的的地方債は19.7%増の498.1億円余、③基金の取り崩し額は当初予算で155億円、残額は411億円。④通常県債662億6千真円余(対前年6月比40.2億余増(14%増))、⑤その他、実質県民個人税は増加、法人2税は減少見込み(0.5%減)1080.3億円余。⑥歳出では社会保障関係費は227億3千万円余、介護保険関係費の伸びなどで1%増となった。

こうした大型補正予算、増える県債に対する財政の健全化に注視。

## 農政産業観光委員会

「古屋まさお」県議は、今年度は「農政産業観光委員会」に所属し、県民の要望等を踏まえ積極的に新事業を含む地域課題の対応策の考え方を質す。



### ●産業労働部

#### 県独自の小規模事業者に対する持続化補助金制度を導入について

これまで、国において小規模事業者が商工会・商工会議所と一体になって経営計画を作成し販路開拓等の支援(補助金)する制度があり、申請者の約70%をカバーしてきた。県では、こうした国の補助金制度から外れた小規模事業者に対する持続化を図るセーフティネットを拡充するための制度を導入した。大歓迎!!

①本事業の予算規模は2000万円、②補助率1/2、③上限50万円とすることを明らかにした。

※市町村でも一部の自治体を実施し、国、県、市町村一体となり小規模事業者を支援しています。

### ●農政部

#### 知事公約の「食品輸出商社」の創設の考え方について

これまで全国的には自治体がJA等の出資を受け設立した例があるが、同業者間の連携など課題が多く、本県は検討委員会を設置し運営等について検討していくとの考え方が示された。

## 中山間地の活性化(牧丘町西保・北原地域) 基盤整備事業の補正予算が決まる

6月定例会において山梨市牧丘町北原地域の基盤整備事業(総事業費8億2千6百万円、負担区分国が55%、県27.5%、市他が17.5%)が令和元年度から令和5年度を工期として行われます。

この事業は区画整備13.5ha、農道整備190m、農業用排水路1310m、等の基盤整備を行い、ワイナリー等2社が業参入し、中山間地におけるワイン用葡萄(ソーヴィニヨン・ブラウン、シャルドネ、メルロー等)の栽培による地域の活性化を目指した事業が今年度採択され、6月定例議会議では補正予算(測量・設計費等)3千万円が審議され可決されました。

この事業を行う隣接地には「鼓川温泉」もあり、中山間地におけるワイン用葡萄の生産モデル地域として発展し「地域が元気」になることを一緒に目指します。



基盤整備後のぶどう畑のイメージ

## 議員の政策立案の取り組み

議員には行政のチェック機能と合わせ「政策立案」機能強化が求められています。県議会では毎年、年度当初に各議員に対し議員提案として取り組む条例及び政策提言のアンケートが行われ、全議員で協議し条例関係1件、政策立案関係1件を決め取り組んで行くこととなった。今年度の条例関係提案数は16件、また政策提言数15件が提案され、今年度は政策条例として「山梨県特殊詐欺の防止条例」、政策提言として「インバウンド観光」に関する政策提言」に取り組むこととなりました。

## 古屋まさお県議の地域活動



山梨市「西沢渓谷」山開き(4/27)



JR中央線特急の停車本数の削減等の陳情・JR東日本会社等(5/16)



山梨県水防訓練・甲州市重川河川(5/26)



山梨市万葉うたまつりどホタル鑑賞会(6/7)

## 夏の参議院選挙 動き出す!

### 山梨県選挙区

## いちき伴子

あなたを、ひとりにしない。

子育て、教育、高齢者等の福祉の充実を図り「みんなで支え合う社会創り」を目指す  
1977年生まれ。関西学院大学卒業・同大学院修了。  
世界の貧困問題をテーマとするNGOで活動。  
衆議院議員公設秘書、地方議員をつとめる。

私の家は幼稚園を運営しています。子どもは希望です。子どもが笑顔にいられる社会をつくりたい。今、「孤立」が社会的な課題となっています。児童虐待や子どもの貧困、子どもたちだけでなく、私たち大人もバラバラとなり「孤立」しています。

「あなたを、ひとりにしない」という言葉は、複雑で多様な社会だからこそ、ともにつながり支えあうことのできる社会、すべての人に出番と居場所がある社会をつくりたいとの思いがこめられています。



いちき伴子

いちき伴子さんを支援いたします。

## 随想録

エッセイ



▶定例議会開催時に知事との意見交換する場がある。「古屋まさお県議」は知事に対し県及び峡東地域の北の玄関口「雁坂トンネル」無料化等の実現を求めた。知事は即答を避けたものの地域の課題は認識していると述べた。▶県議選後、峡東地域の課題等に党派、会派を超え、取り組んでいく峡東県議連盟(甲州市、山梨市、笛吹市選出の6名県議)を設立した。そして5/16には知事、峡東3市長とJR中央線の特急の停車本数削減問題、あずさ回数券の廃止、通勤快速の延伸等について国土交通省、JR東日本に対し陳情行動を実施、▶昨年「指定管理施設・出資法人調査特別委員会」で「県立射撃場」(笛吹市八代町)の施設老朽化及び設置道路の狭隘などから利用者の低下を指摘、再整備を求めた件が動き出すこと期待する。